

病院職員アンケート調査結果

◆ アンケート調査の概要

〔実施期間〕 【WEB】2024年11月1日(金)～11月15日(金)

〔対象者〕 市立病院所属の全職員（常勤職員・会計年度任用職員）

〔回答形式〕 GoogleForms を活用した WEB アンケート

〔回答件数〕 110 件

〔設 問〕

設問 1 あなたの所属を選択してください。

設問 2 病院全体における現状のソフト面(組織・人員体制や仕組み・ルール等)について以下の項目ごとに当てはまるものを選択してください。

設問 3 病院全体における現状のハード面(施設や設備、医療機器等)について以下の項目ごとに当てはまるものを選択してください。

設問 4 新たな市立病院の建替えに際し、当院の担うべき役割・診療機能として必要なものを3つ以内選択してください。

設問 5 市立病院の建替えに関して、患者サービスにおけるソフト面への期待について当てはまるものを3つ以内選択してください。

設問 6 市立病院の建替えに関して、職員が快適に働くためのソフト面への期待について当てはまるものを3つ以内選択してください。

設問 7 市立病院の建替えに関して、患者サービスにおけるハード面への期待について当てはまるものを3つ以内選択してください。

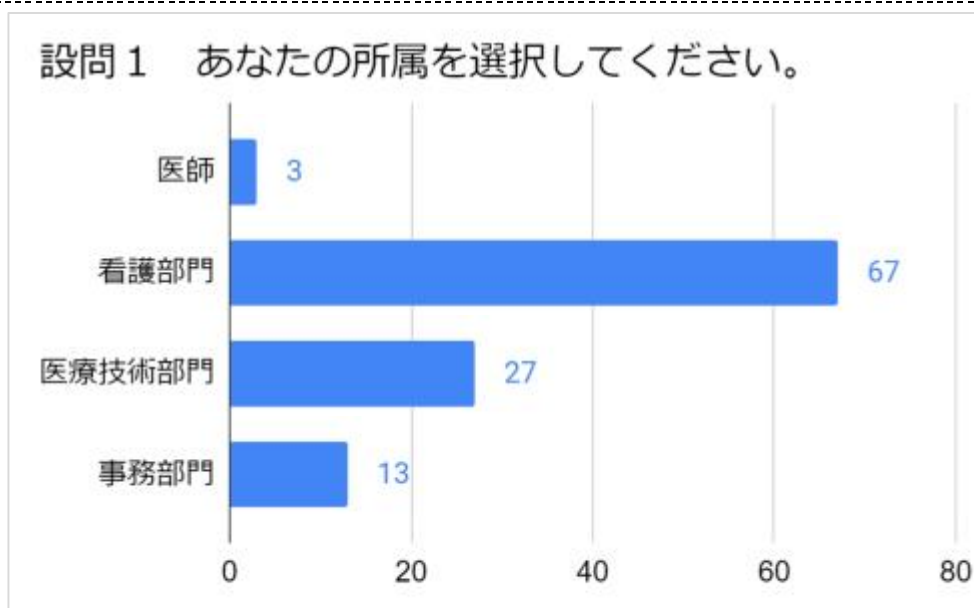
設問 8 市立病院の建替えに関して、職員が快適に働くためのハード面への期待について当てはまるものを3つ以内選択してください。

設問 9 新病院における既存診療科の在り方について当てはまるものいずれかを選択してください。

設問 10 設問 10 以外に必要と思われる診療科があればご記載ください。

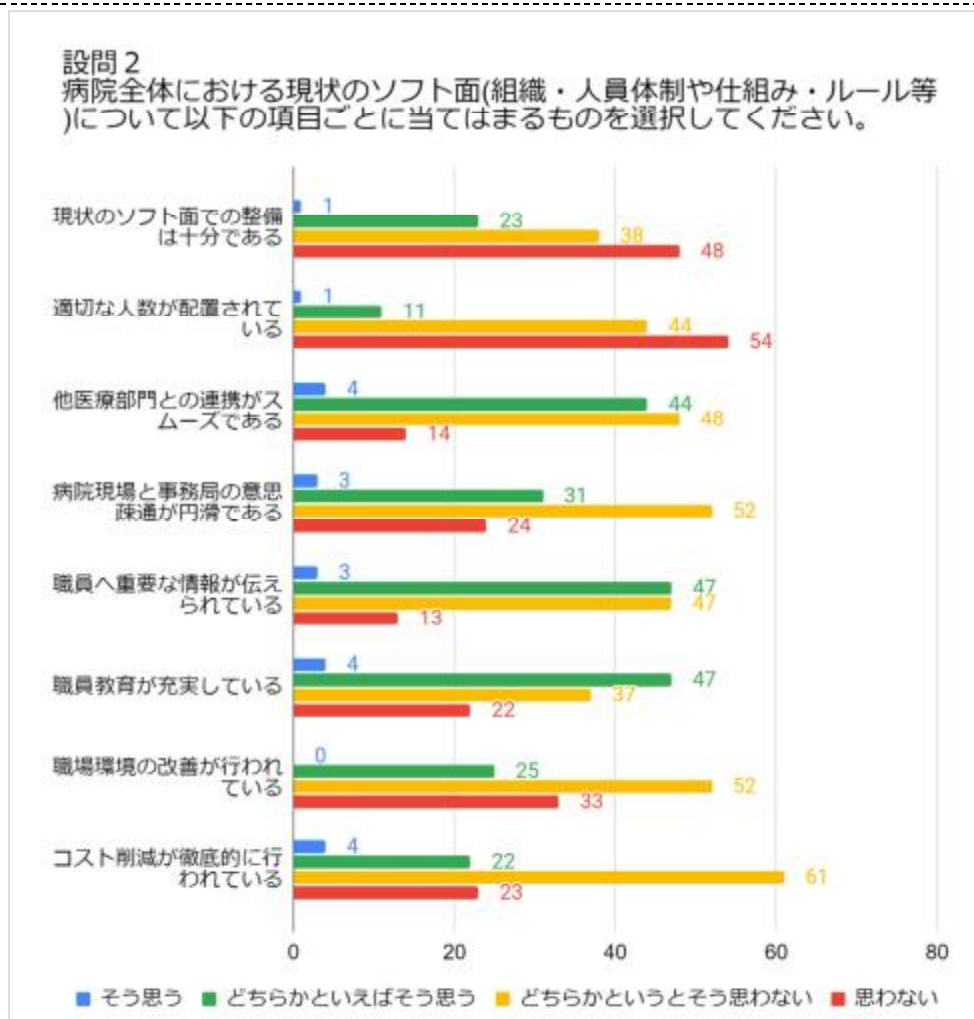
設問 11 最後に、新病院に向けて期待することをお聞かせください。

◆ 所属する部門について



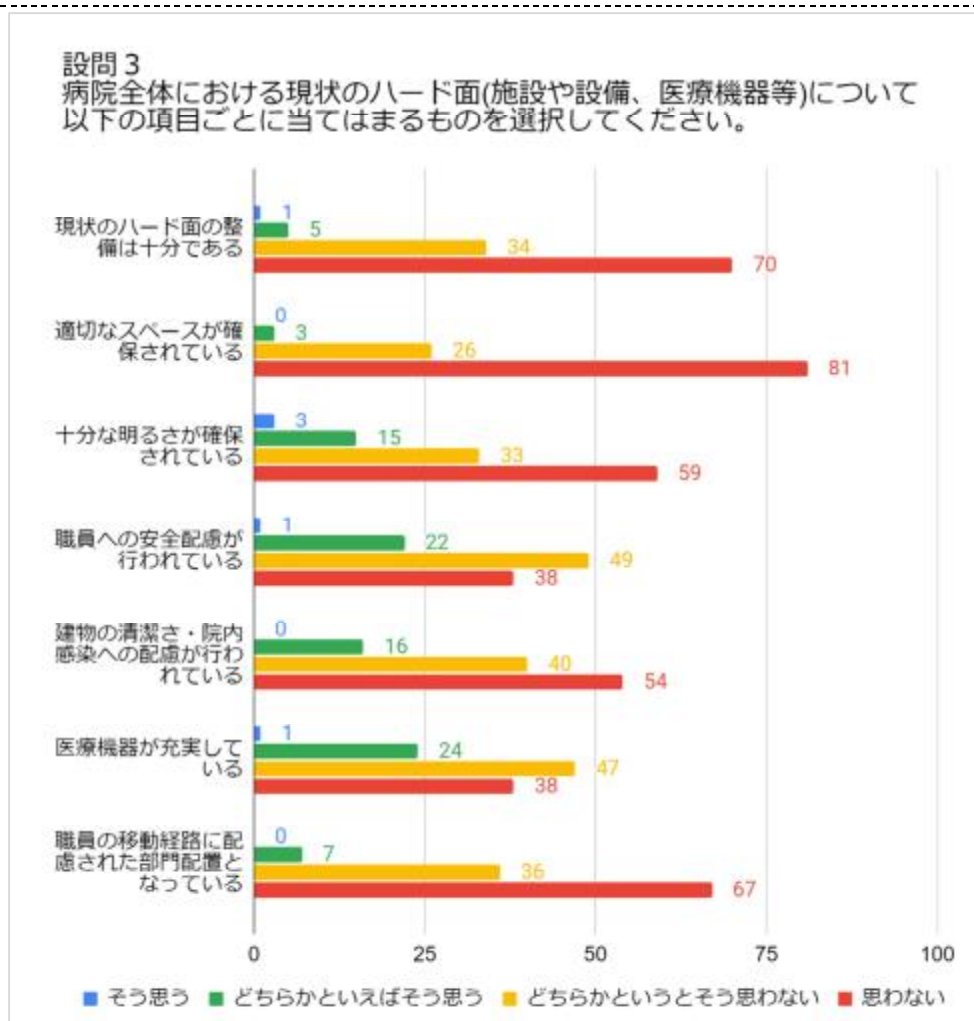
回答件数 110 件のうち、所属部門をみると、看護部門が 67 名（約 65%）と最も多く、全体の過半数を占めています。次いで、医療技術部門が 27 名（約 26%）、事務部門が 13 名（約 12%）となっています。医師は 3 名（約 3%）と最も少ない割合となっています。

◆ 現状のソフト面（組織・人員体制や仕組み・ルール等）について



現状のソフト面全般的な項目である「現状のソフト面での整備は十分である」に対して、「思わない」、「どちらかというともう思わない」という意見が過半数を占めており、ソフト面の改善が求められています。特に、「適切な人数が配置されている」という項目に対しては、「そう思わない」という意見が多く、現行の運営体制や人員体制に課題があることが浮き彫りになりました。人員体制は、病院運営の基盤を成す要素であり、優先的に改善が必要であると考えられます。また、「職場環境の改善が行われている」や「コスト削減が徹底的に行われている」という項目に対しても、「そう思わない」という意見が多く、職場環境については職員のモチベーション、コスト削減については病院の経営効率に直結するため、現状の取り組みを改めて見直す必要があります。その他にも他医療部門との連携や病院現場と事務局の意思疎通についても改善策を検討し、より良い病院運営が実現する必要があります。

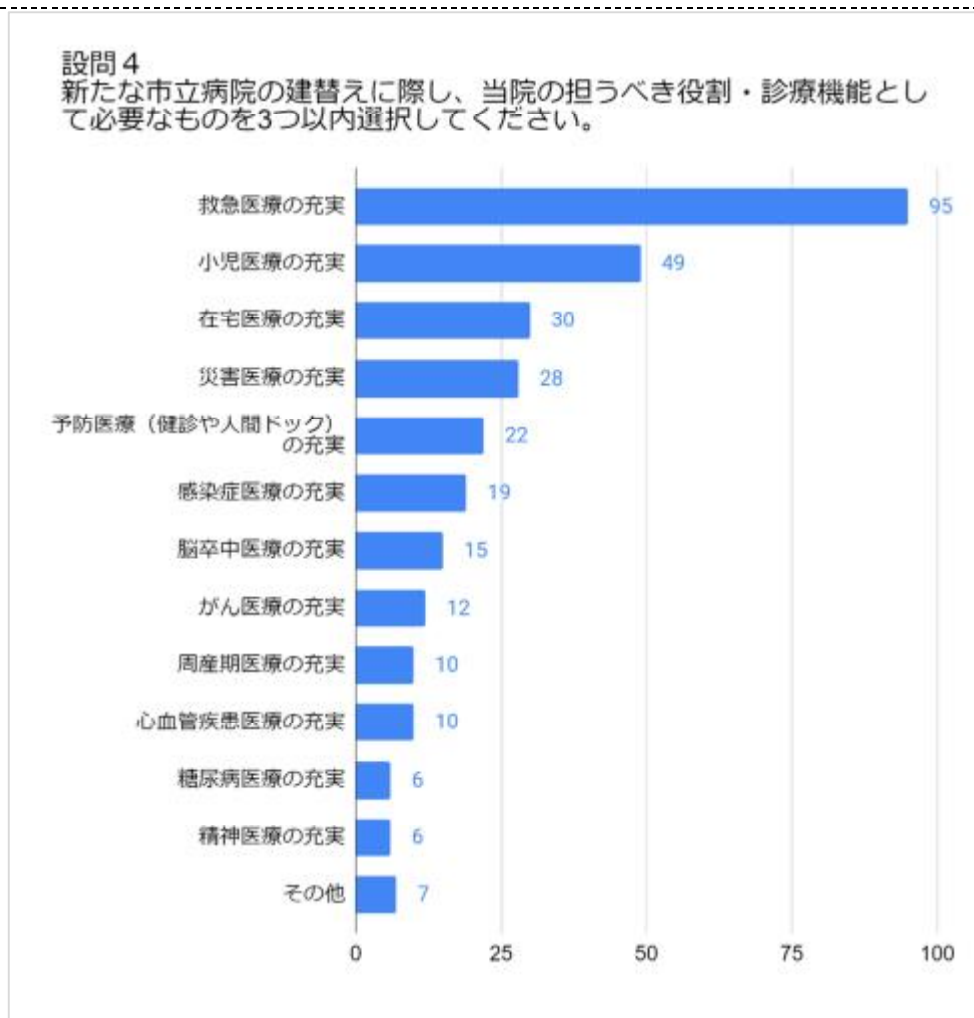
◆ 現状のハード面（施設や設備、医療機器等）について



現状のハード面全般的な項目である「現状のハード面の整備は十分である」に対して、「思わない」、「どちらかというと思わない」という意見が過半数を占めており、ハード面の改善が求められています。

特に、「適切なスペースが確保されている」、「職員の移動経路に配慮された部門配置となっている」という項目に対しては、「そう思わない」という意見が多く、現状のスペース不足、職員動線に課題があることが考えられます。その他にも、院内の明るさ、建物の清潔さ・感染などについても課題が見受けられるため、改善策として自然光を取り入れやすい設計や適切な照明設備の導入や、清掃や衛生管理が行いやすい構造設計、感染症対策に配慮したゾーニングなどを検討していく必要があると考えられます。

◆ 新たな市立病院の担うべき役割・診療機能について

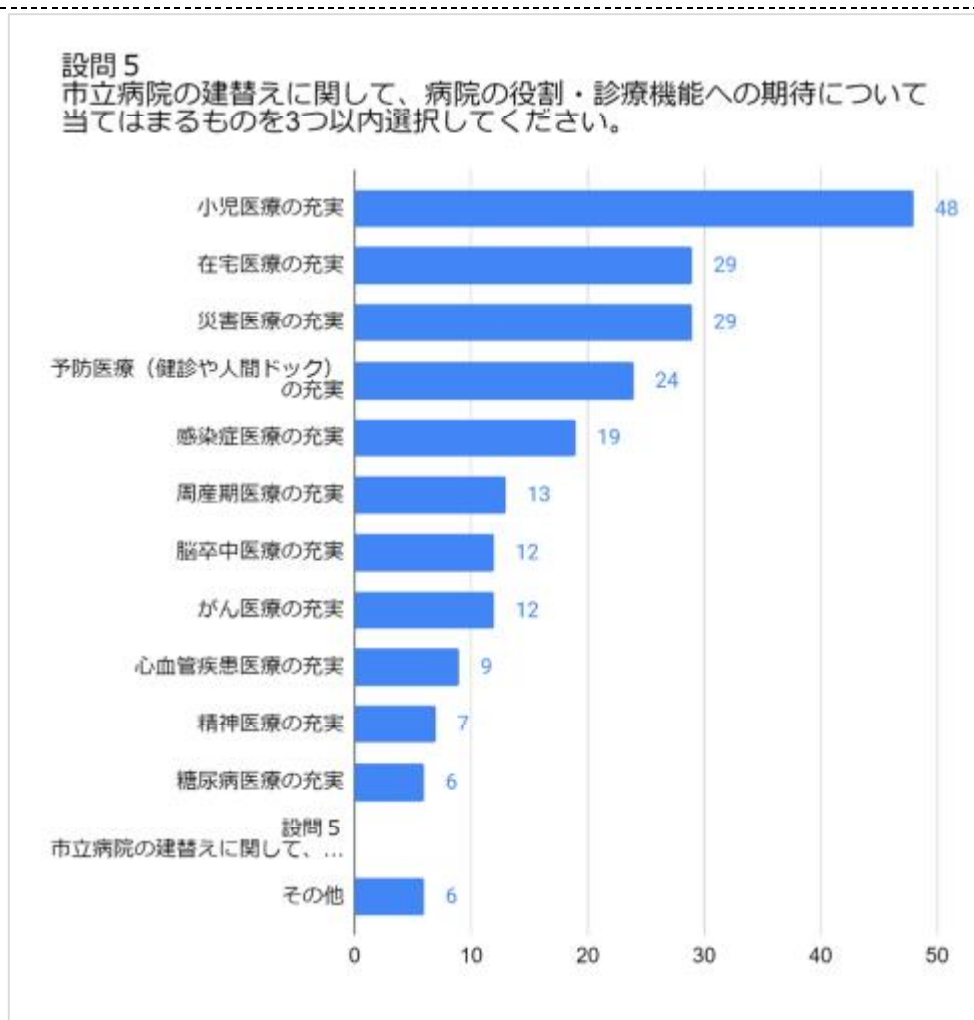


新たな市立病院の担うべき役割・診療機能として、最も多かったのは、「救急医療の充実」（95件）でした。次いで、「小児医療の充実」（49件）、「在宅医療の充実」（30件）、「災害医療の充実」（28件）が上位に挙げられています。

その他の意見としては、「リハビリテーションの充実」、「総合診療」、「整形外科、外科、泌尿器科の手術の維持」、「人工透析」といった具体的な機能も挙げられています。

新たな市立病院における担うべき役割・診療機能については、これらの意見を参考とし、人員体制などによる実現可能性を踏まえた検討が必要となります。

◆ 新たな市立病院に期待する役割・診療機能について

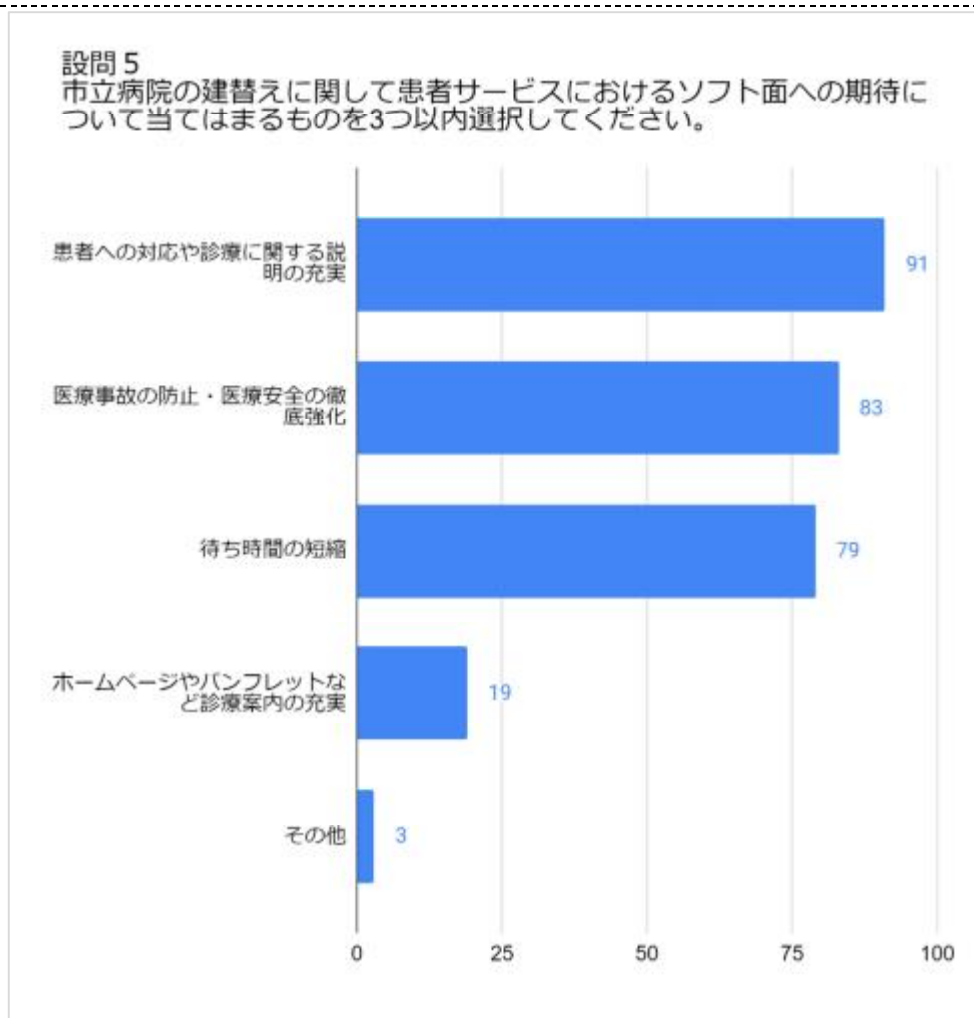


(設問 4 とほぼ同じ内容の設問になってしまいましたので、参考として掲載します)

【その他の意見】

- ・ 外科系手術の維持
- ・ 駐車場
- ・ リハビリテーションの充実
- ・ 地域医療 訪問 退院調整部門の充実
- ・ 血液透析

◆ 新たな市立病院の患者サービスにおけるソフト面への期待について

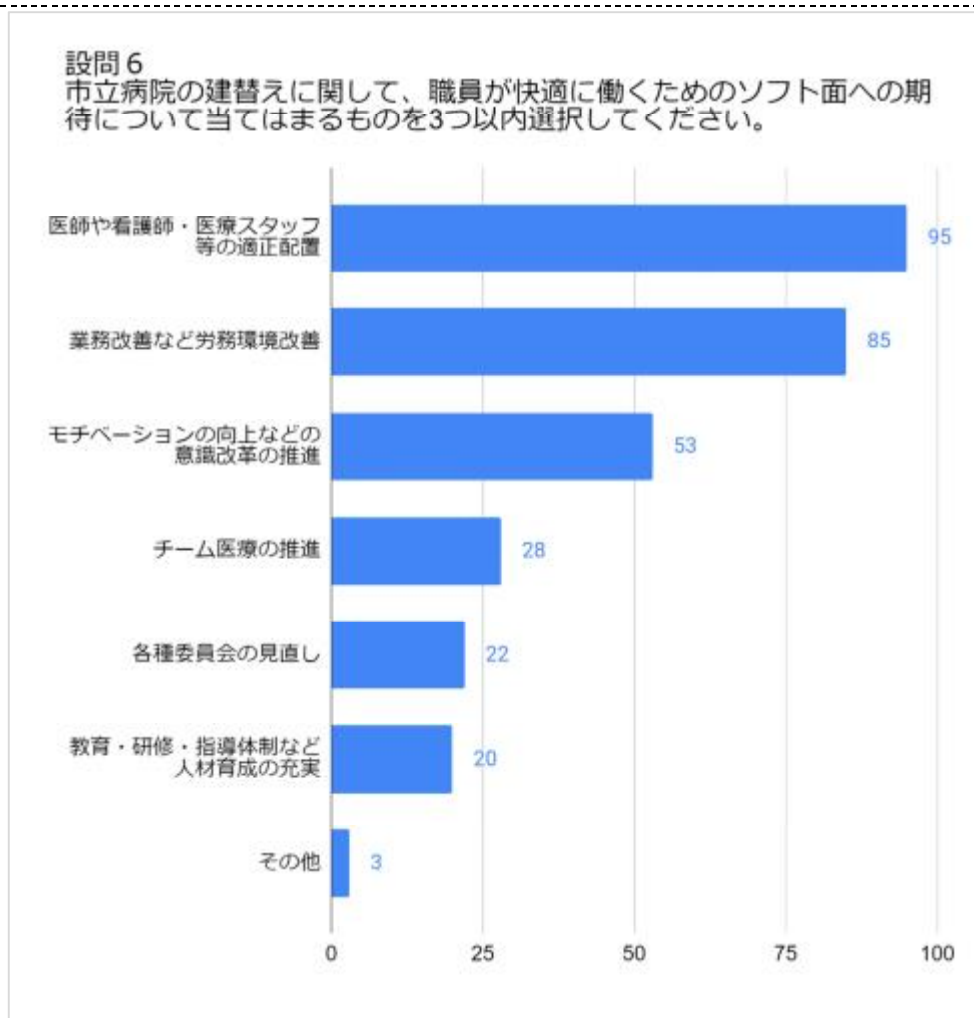


患者サービスにおけるソフト面の期待について、最も多かったのは、「患者への対応や診療に関する説明の充実」（91票）でした。次いで、「医療事故の防止・医療安全の徹底強化」（83票）、「待ち時間の短縮」（79票）が上位として挙がっています。

その他の意見としては、「会計時間の短縮」、「地域医療および退院調整部門の案内の充実」、「診療時間の拡大」といった具体的な改善案も挙げられています。

アンケート結果を参考に、患者への説明責任の徹底や医療安全対策の強化、効率的な運営体制の構築などの検討に向けた検討が必要と考えられます。

◆ 新たな市立病院で職員が快適に働くためのソフト面への期待について

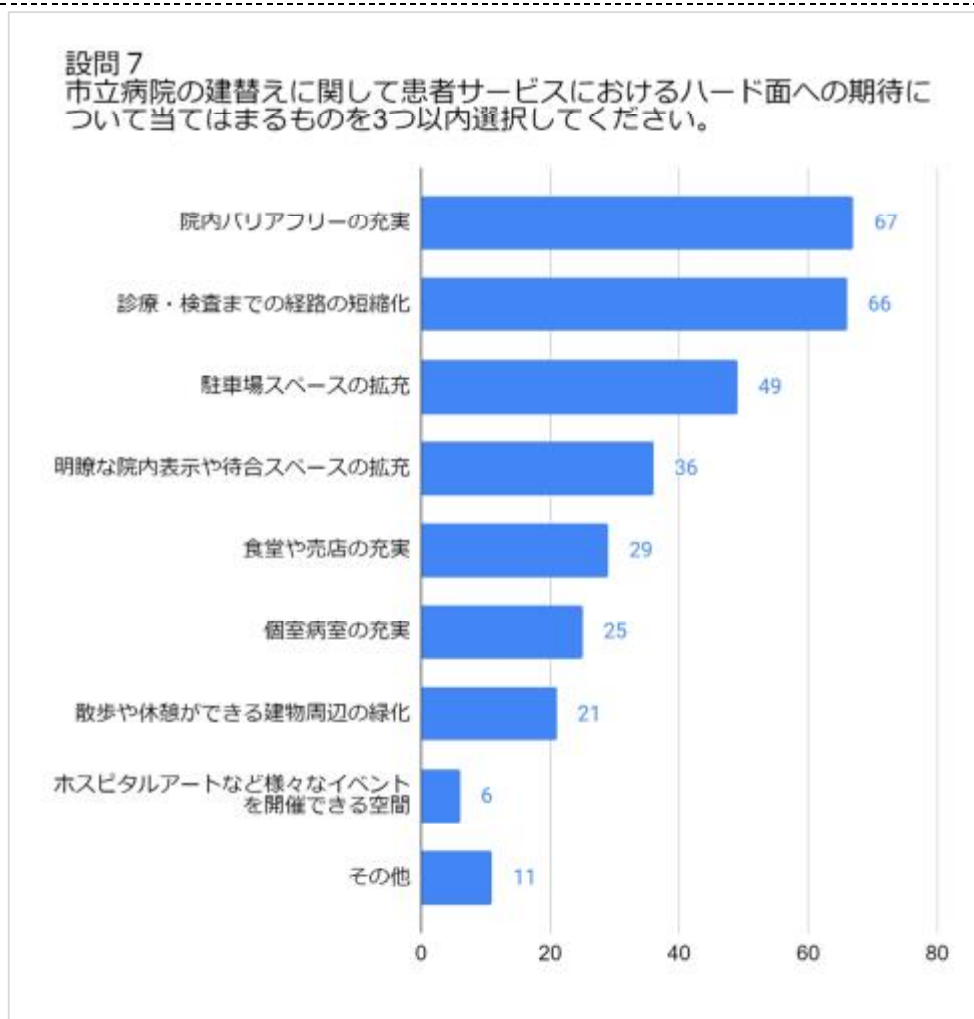


職員が快適に働くためのソフト面への期待について、多くの回答が寄せられたのは、「医師や看護師・医療スタッフ等の適正配置」（95票）、「業務改善など労務環境改善」（85票）となっています。また、「モチベーションの向上などの職員改革の推進」（53票）も一定の回答をいただいています。

その他の意見として、「年休消化」、「階級、職名、夜勤手当、給与の見直し」、「基本給や夜勤手当の引き上げ」といった具体的な提案も挙げられています。

全体として、職員の配置と労務環境の改善が最も強く求められており、同時に、モチベーション向上を含む職場改革にも一定の注目が集まっています。

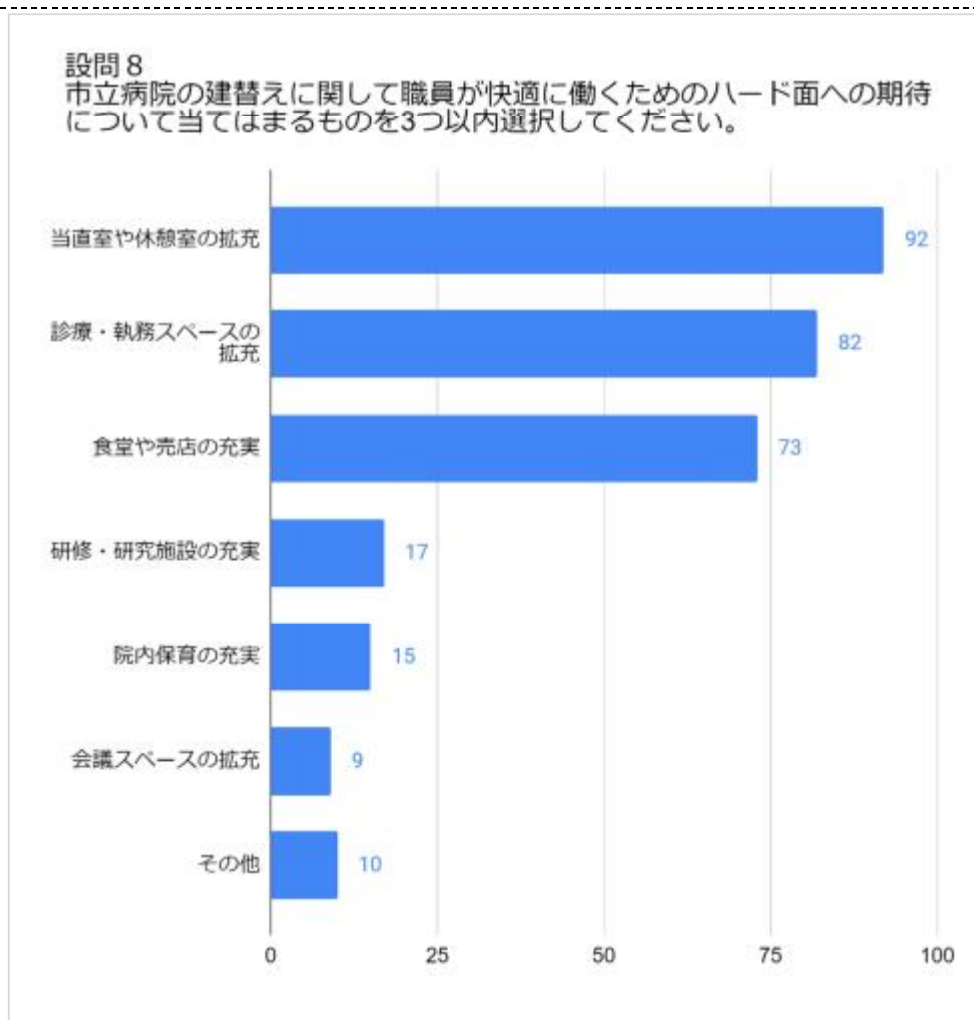
◆ 新たな市立病院の患者サービスにおけるハード面への期待について



患者サービスにおけるハード面の期待について、多くの要望が寄せられたのは「院内バリアフリーの充実」（67票）と「診察・検査までの経路の短縮化」（66票）、「駐車場スペースの拡充」（49票）となっています。他にも、「明瞭な院内表示や待合スペースの拡充」（36票）、「食堂や売店の充実」（29票）、「個室病室の充実」（25票）も一定数の要望が寄せられています。

全体として、利便性の改善が最も重要視されており、特にバリアフリー化や診察経路の効率化が必要であることが伺えます。同時に、快適性や環境整備も一定のニーズが確認されました。

◆ 新たな市立病院で職員が快適に働くためのハード面への期待について

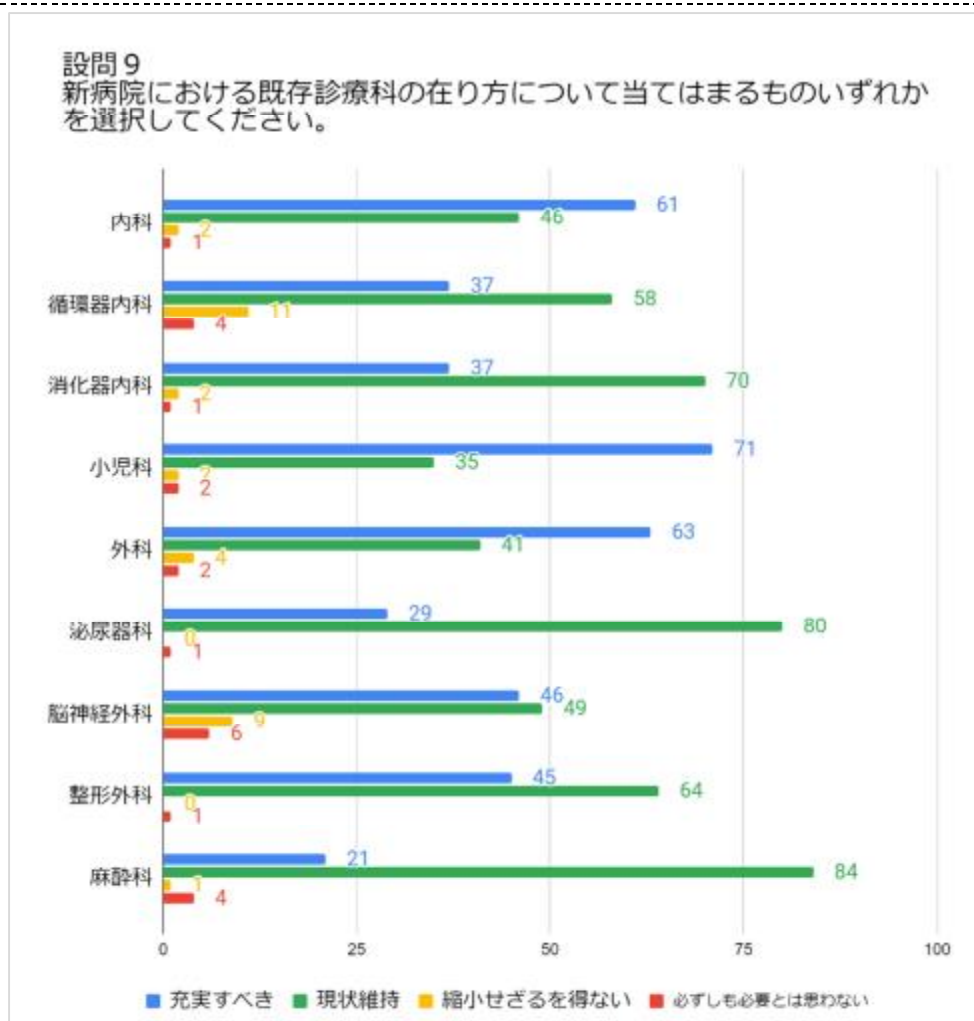


職員が快適に働くためのハード面への期待について、最も多く要望が寄せられたのは「当直室や休憩室の拡充」（92票）となっています。次いで、「診療・執務スペースの拡充」（82件）、「食堂や売店の充実」（73件）となっており、職員の業務効率化と生活面での利便性の向上が重要視されていることが示されています。一方、「院内保育の充実」（15票）、「研修・研究施設の充実」（17票）、「会議スペースの拡充」（9票）は、比較的少ない件数にはなっていますが、これらは特定の職種や役割に限定されたニーズであるため、引き続き拡充の検討を行います。

その他の意見としては、「職員と患者の出入口や通路の分離」「駐車場の整備」「トイレや病室環境の改善」、「Wi-Fi環境の整備」、「使用する医療機器の充実」など、具体的な意見が挙げられました。

職員が快適に働くためには、直接的な労働環境の改善（例：診療スペース、当直・執務スペースの拡充）だけでなく、生活面での利便性（例：食堂の充実）も求められています。

◆ 新たな市立病院における既存診療科の在り方について

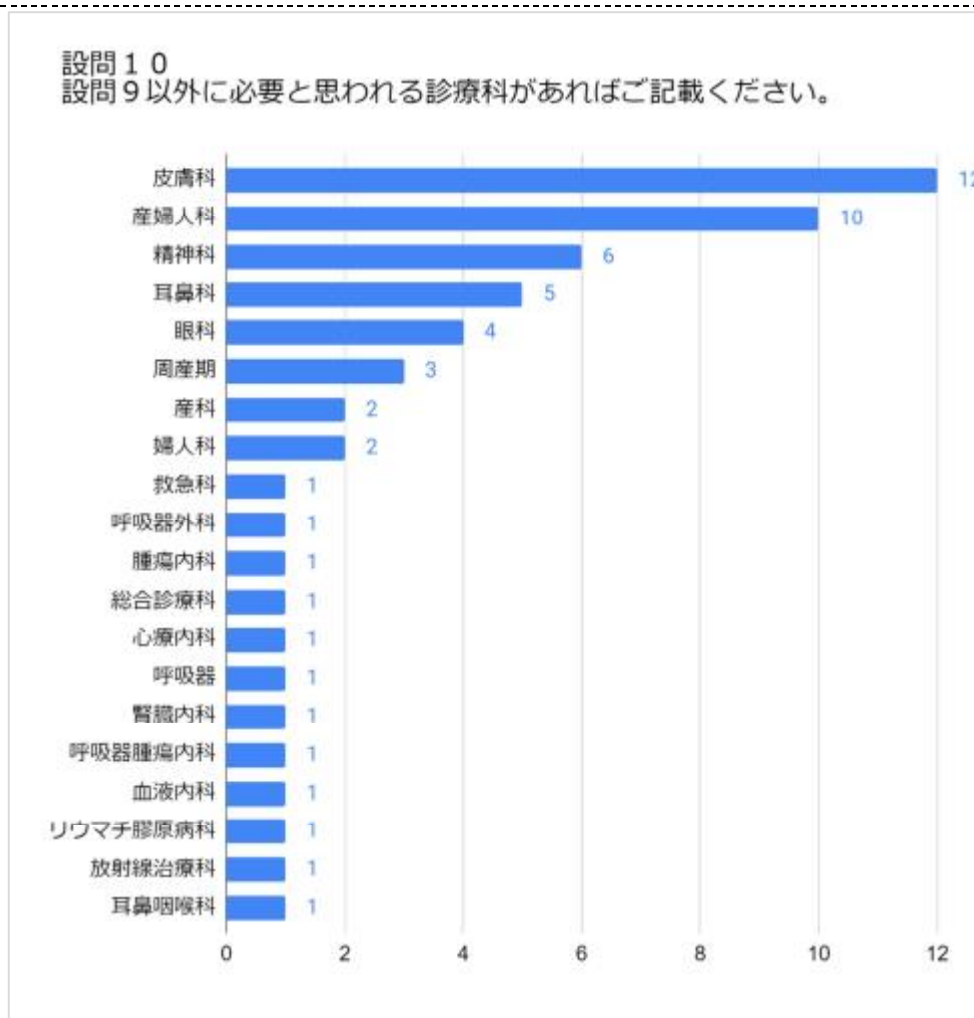


既存診療科の在り方について、「充実すべき」との意見が最も多かったのは、「小児科」（71件）でした。次いで、「外科」（63件）、「内科」（61件）となっています。

「現状維持」との意見が多かった既存診療科は、「麻酔科」（84件）、「泌尿器科」（80件）、「消化器内科」（70件）、「整形外科」（64件）、「循環器内科」（58件）、「脳神経外科」（49件）となっています。

結果として、小児科、外科、内科への充実への要望が高いことは、これらの診療科の需要があるものの、何らかの課題があるものと伺えます。この調査結果を参考に、各既存診療科の課題を明確化し、充実に向けた検討が必要と考えられます。

◆ その他に必要と思われる診療科について



その他に必要なと思われる診療科として、最も多くの回答が集まったのは「皮膚科」（12 件）でした。また、「産婦人科」（10 件）、「周産期」（3 件）、「産科」（2 件）、「婦人科」（2 件）といった産婦人科およびその関連分野も多くの回答をいただきました。その他にも、「精神科」（6 件）や「耳鼻科」（5 件）、「眼科」（4 件）も一定の回答をいただいています。

全体として、様々な診療科に対する回答が得られたものの、特に「皮膚科」と「産婦人科およびその関連分野」への要望が突出しており、これらの分野に対する医療提供体制の構築が重要であることが伺えます。

◆ 新病院に向けて期待すること（自由記載）

＜主な意見を抜粋（要約）＞

① 地域に根ざした病院の実現

- ・ 地元住民が安心して通える病院であり、地域の支えとなる存在を目指してほしい。
- ・ 人口減少や民間医療機関の撤退が懸念される中、地域全体で医療体制を支える「オール秩父」の連携を検討すべき。

② 働きやすい環境の整備

- ・ 夜勤看護師の休憩スペースや男女別の仮眠室の整備。
- ・ 動線の合理化や収納スペースの確保など、職員が快適に働ける環境を整備。
- ・ 職員の意見を直接聞き、給与や労働条件の見直しを行う。

③ 患者に配慮した設計

- ・ トイレや洗面台の充実、バリアフリー設計。
- ・ 清潔感のある施設の維持と感染対策の徹底。
- ・ 高齢者や障害者が利用しやすい設備の導入。

④ 持続可能で長期的視点を持つ施設計画

- ・ 将来の医療需要や人口動態を考慮した施設の整備。
- ・ 建設後の運営を見据えた計画。

⑤ 医療と福祉をつなぐ拠点としての役割

- ・ 保健福祉機関との連携強化。
- ・ 高齢者、子育て家庭、障害者が集えるコミュニティスペースの提供。

⑥ 医療提供体制の充実

- ・ 医師やスタッフの人数確保と適切な配置。
- ・ 医療機器の充実と効率的な運用。

＜総括＞

新病院に向けて期待することとして、特に多かった意見は、「地元住民が安心して利用できる病院を目指してほしい」という意見でした。また、職員の働き易さとして、「動線の工夫」や「休憩スペースの確保」、「労働環境の改善」が求められていました。さらに、患者への配慮として、「トイレや洗面台の充実」、「バリアフリー設計」、「感染対策の徹底」なども挙げられました。その他にも、持続可能な運営として秩父圏域全体で医療提供体制を支える連携・協力体制の必要性も指摘されました。

来院者・地域住民アンケート調査結果

◆ アンケート調査の概要

〔実施期間〕 【WEB】2024年11月8日(金)～11月29日(金)

【紙】 2024年11月8日(金)～11月22日(金)

〔対象者〕 ①市立病院の来院者（患者・家族等）

②住民（主に秩父市民を想定）

〔回答形式〕 【WEB】GoogleFormsを活用したWEBアンケート

【紙】 アンケート用紙を市立病院で配布・回収

〔回答件数〕 823件

〔設問〕

設問1 あなたの年齢を選択してください。

設問2 あなたがお住まいの市区町村を選択してください。

設問3 過去5年間で秩父市立病院を利用（入院または受診）したことがありますか。

設問4 秩父市立病院を利用する際によく使用する交通手段は何ですか。※1

設問5 受診先に市立病院を選んだ理由は何ですか。※1

設問6 利用した感想をお聞かせください。※1

設問7 市立病院を利用したことがない理由をお聞かせください。※2

設問8 将来の秩父市立病院に求める役割・診療機能についてお聞きします。

設問9 あなたが秩父市立病院に入院するとした場合、どの病室を希望しますか。

設問10 将来の秩父市立病院に求める施設・設備についてお聞きします。

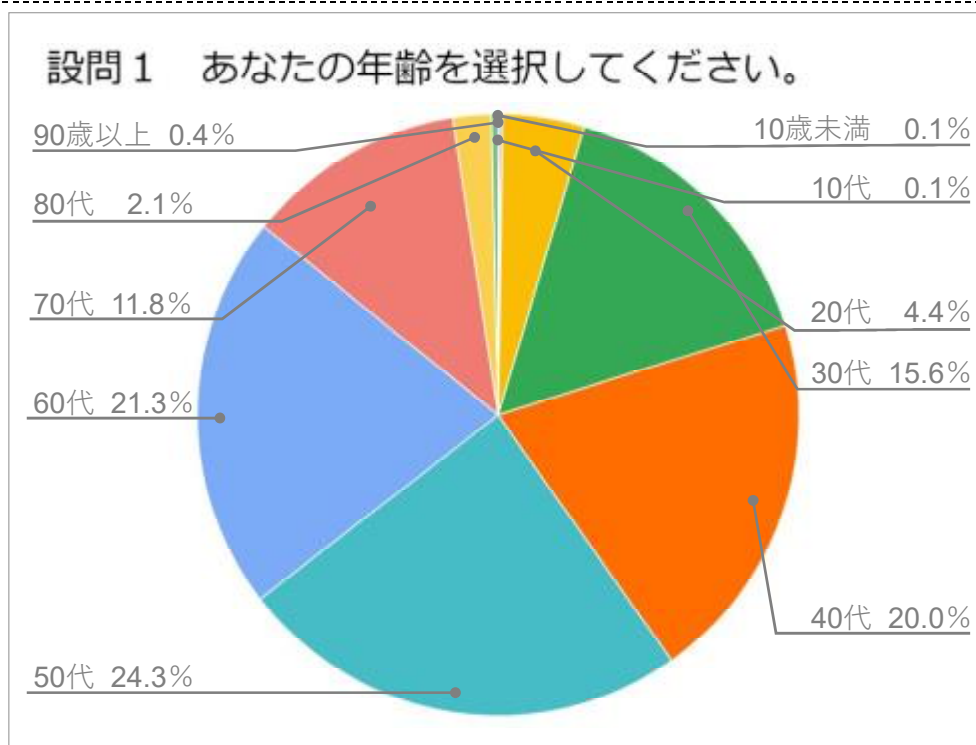
設問11 将来の秩父市立病院に求めるサービス施設・設備についてお聞きします。

設問12 今後、市立病院を利用する上で期待することをお聞かせください

※1 設問3で「利用したことがある」と答えた方のみ回答

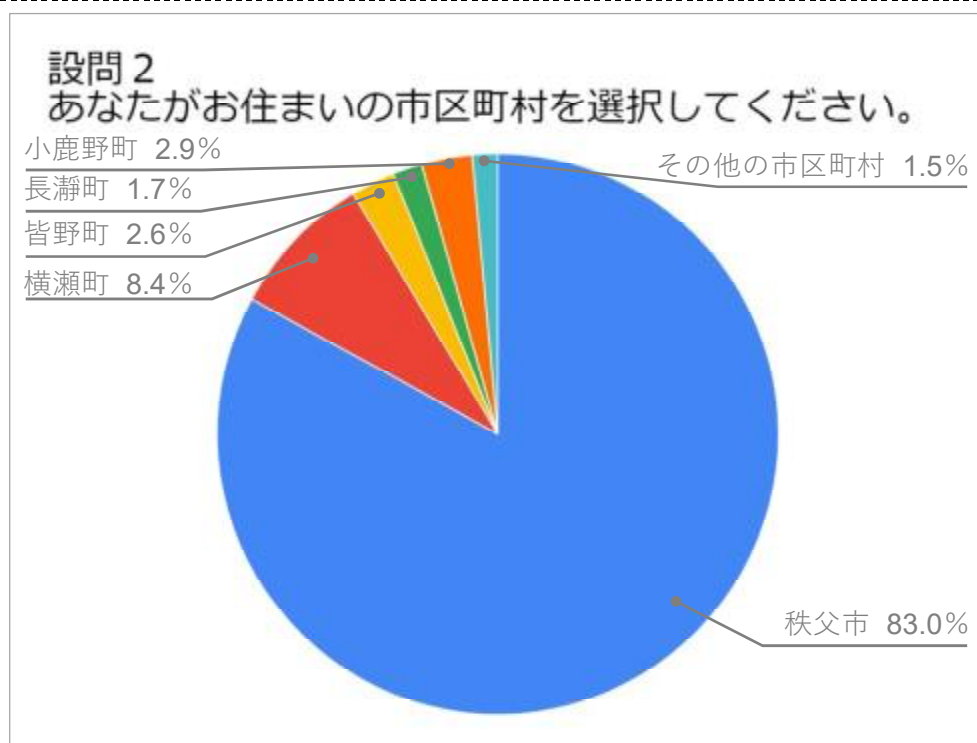
※2 設問3で「利用したことがない」と答えた方のみ回答

◆ 年齢階級別の回答状況



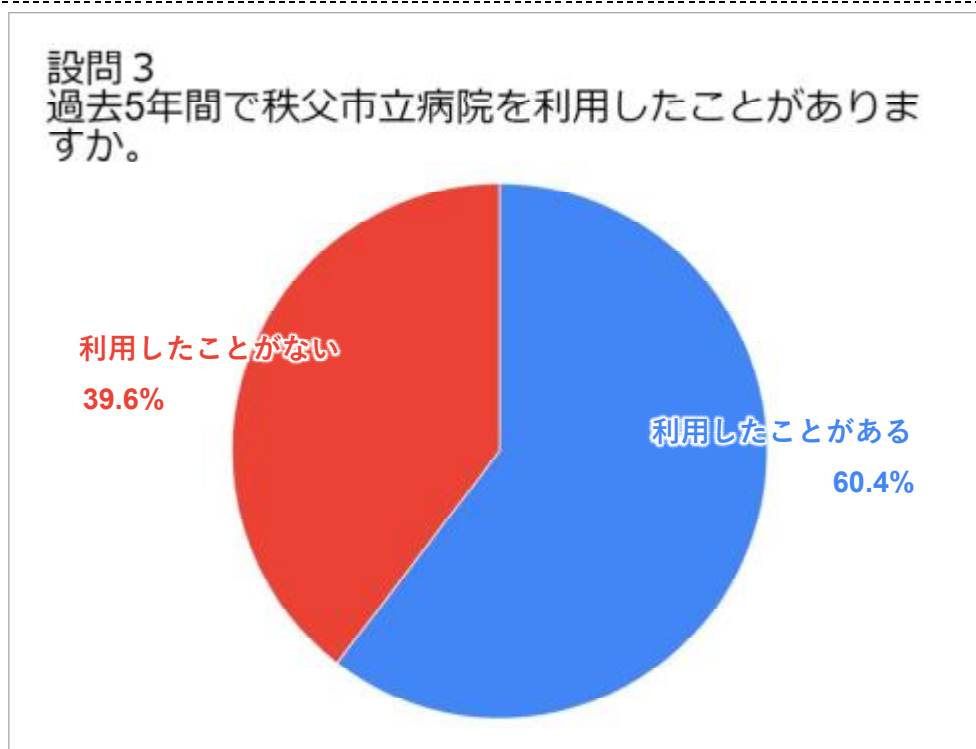
回答件数 110 件のうち、回答者の年齢階級をみると、50代が約 24.3%と最も多くを占めており、次いで、60代が約 21.3%、40代が約 20.0%、30代が約 15.6%、70代が約 11.8%となっています。一方、10歳以下、20代、80代、90歳以上の回答は少なく、30代～70代が中心的な回答層となっています。

◆ お住まいの市区町村について



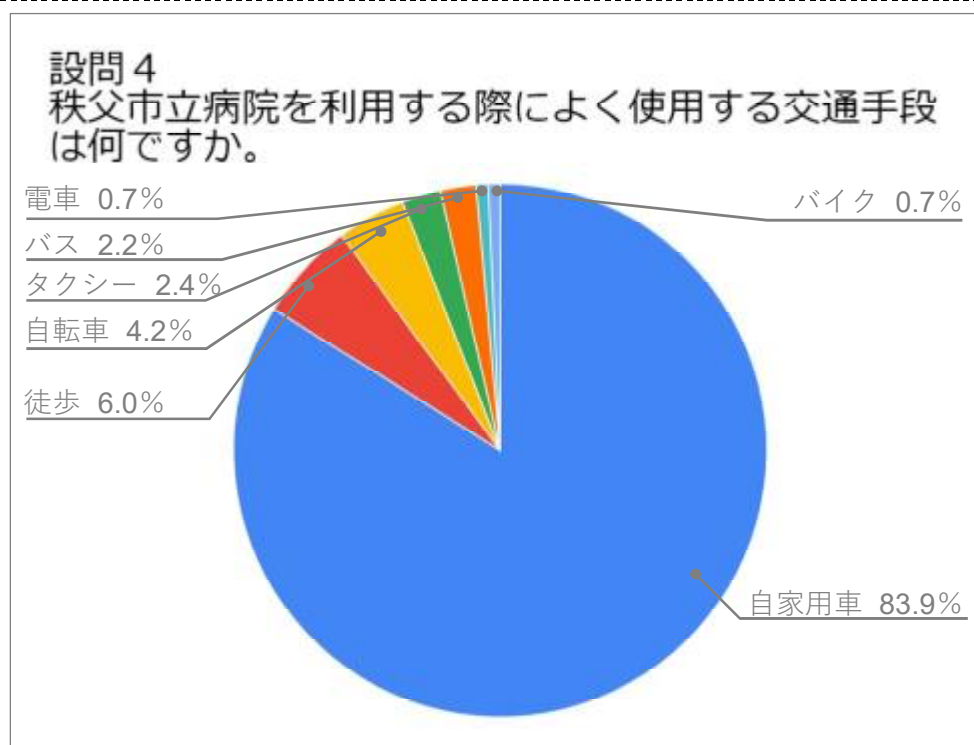
回答者のお住まいの市区町村をみると、「秩父市」が最も多く、全体の約 83.0%を占めています。次いで「横瀬町」が約 8.4%、「小鹿野町」が約 2.9%、「皆野町」が約 2.6%、「長瀬町」が約 1.7%となっています。

◆ 過去 5 年間の市立病院の利用状況



過去 5 年間で市立病院を利用（入院または受診）した経験について、「利用したことがある」が 60.4%、「利用したことがない」が 39.6%となっています。

◆ 市立病院を利用する際の交通手段について



市立病院を利用する際の交通手段について、最も多いのは「自家用車」で約 83.9%を占めています。次いで「徒歩」が約 6.0%、「自転車」が約 4.2%となっており、「タクシー」、「電車」、「バイク」は少数となっていました。

この結果から、秩父市立病院の利用に際しては、「自家用車」が主要な交通手段となっていることが分かりました。

一方で、バスや電車などの公共交通機関の利用率の低さ、タクシーが公共交通機関の利用率を上回っている状況を見ると、高齢者や免許を持たない住民にとってのアクセス面での課題を示している可能性や、公共交通機関の利便性の低さを表している可能性があり、今後の課題として考えられます。病院へのアクセス向上のためには、利用できるバスの本数を増やすなど地域の公共交通網の強化、送迎サービスの導入を検討、交通手段に関する情報提供の充実などの対策が改善点として考えられます。

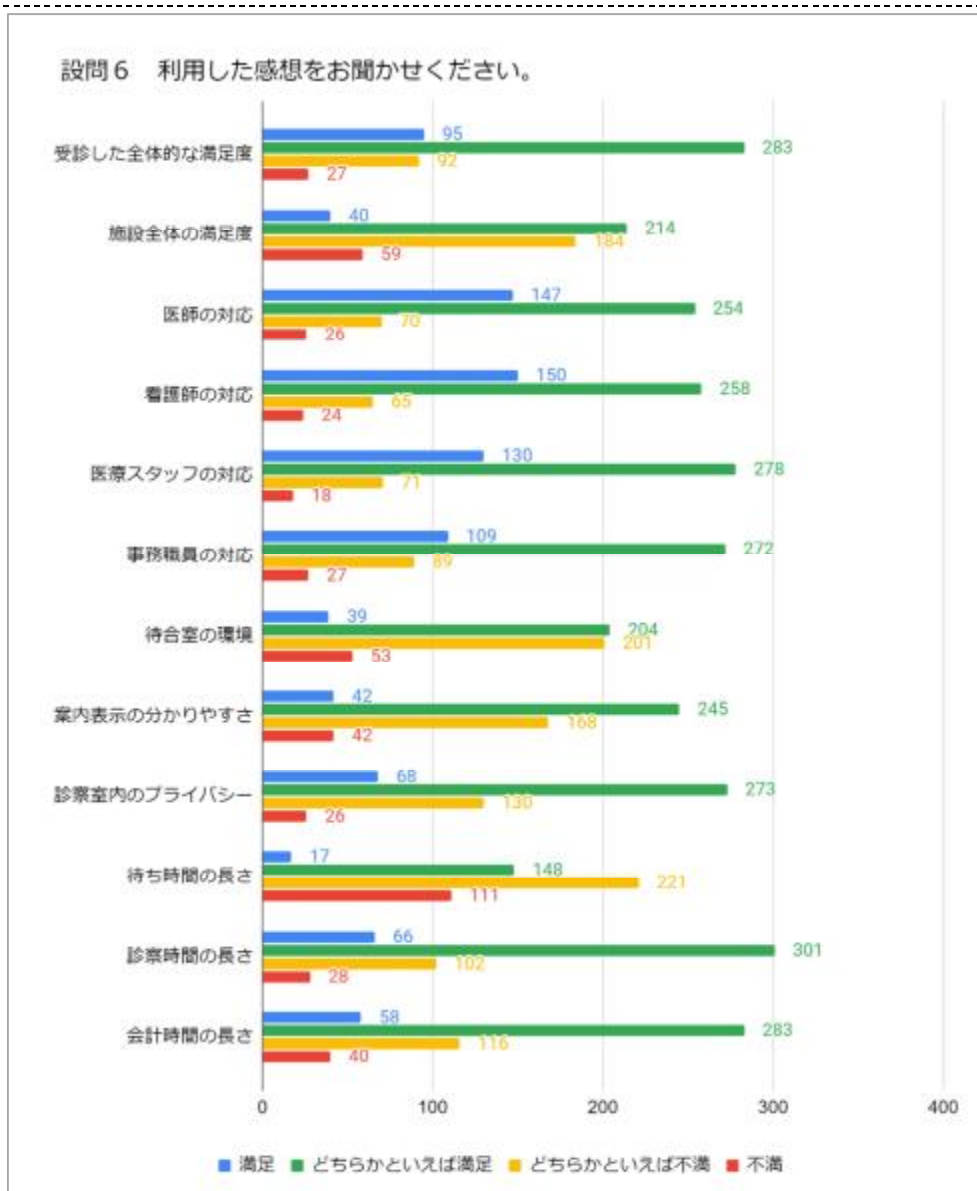
◆ 受診先に市立病院を選んだ理由



市立病院を受診先に選んだ理由として、最も多かったのは「希望の診療科があるから」（207件）でした。次いで、「自宅や勤務先から近いから」（158件）、「救急で利用したことがあるから」（127件）、「他の医療機関から紹介されたから」（112件）といった理由が上位に挙げられています。

この結果から、患者が市立病院を選ぶ主な理由としては、「診療科の充実度」や「立地の利便性」が大きな要因となっていることが分かりました。

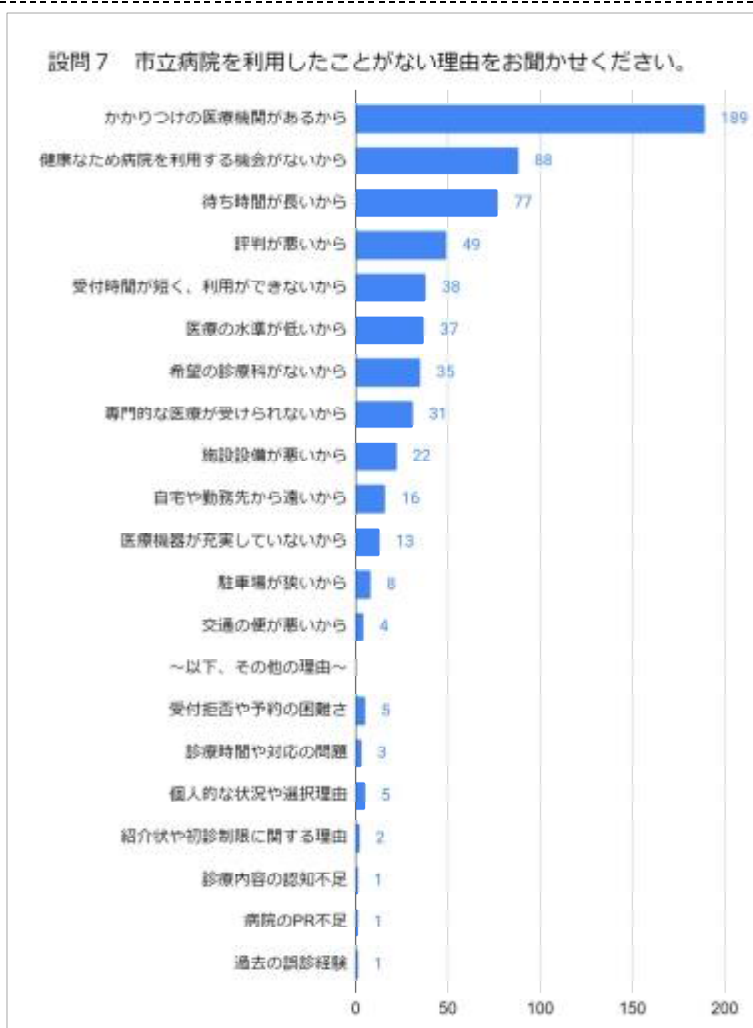
◆ 市立病院を利用した感想



「受診した全体的な満足度」や、「医師/看護師/医療スタッフ/事務職員の対応」に関しては比較的高い評価をいただいていたが、「施設全体の満足度」、「待ち時間の長さ」、「待合室の環境」など施設面に関する満足度は低い傾向にありました。

今回の結果から、病院職員の接遇やサービスは、患者にとってポジティブに評価されていることが考えられます。一方で、「施設全体の満足度」が低いことは、施設の老朽化や設備の不備が患者の満足度に影響を与えていることが考えられます。さらに、「待ち時間の長さ」に対する不満が顕著であることから、病院の運営効率の見直しが急務であることが考えられます。

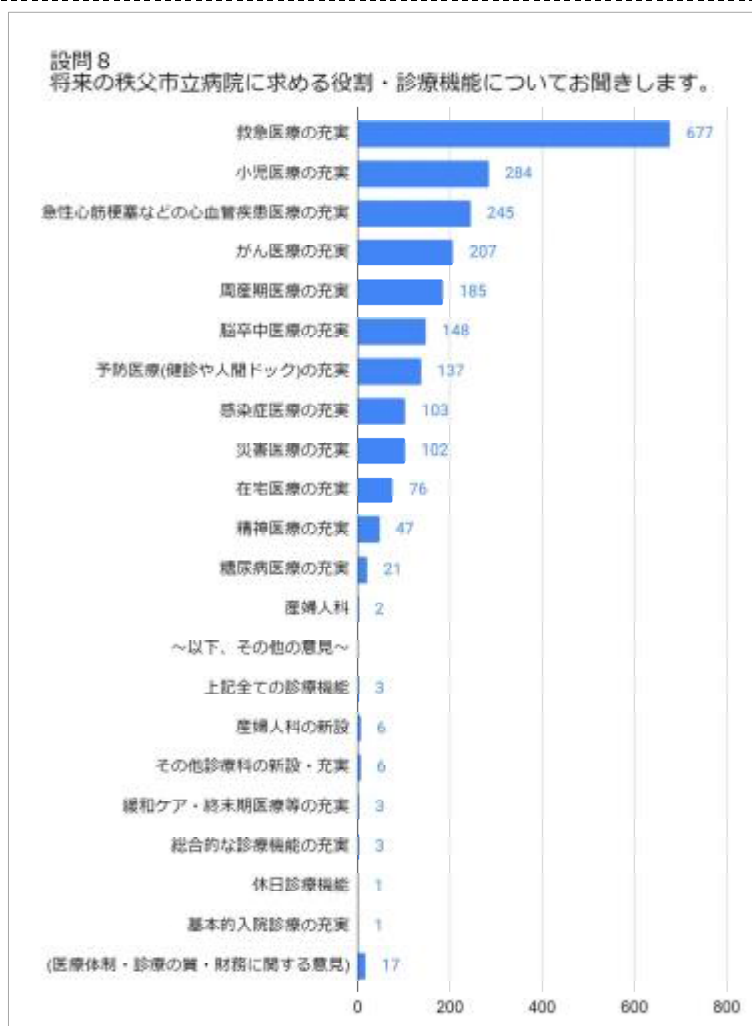
◆ 市立病院を利用したことがない理由



市立病院を利用したことがない理由として、最も多かったのは「かかりつけの医療機関があるから」（189件）でした。次いで、「健康なため病院を利用する機会がないから」（88件）、「待ち時間が長いから」（77件）、「評判が悪いから」（49件）が上位に挙げられています。また、「医療の水準が低いから」（37件）や「希望の診療科がないから」（35件）といった理由も一定数見られました。

「待ち時間が長いから」や「評判が悪いから」といった理由は、患者の利便性や信頼に関わる問題であり、病院の運営効率やサービスの改善が必要であることを示しています。「医療の水準が低いから」「希望の診療科がないから」といった理由については、市立病院の医療提供体制や専門性の向上が求められることが考えられます。

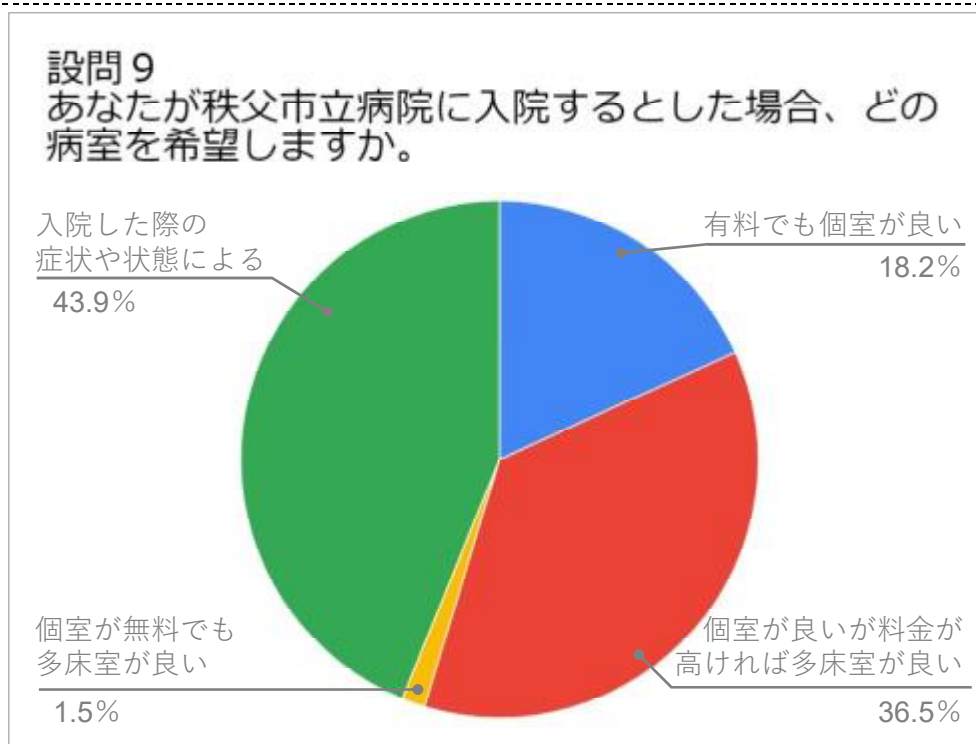
◆ 将来の秩父市立病院に求める役割・診療機能について



市立病院に求められる役割・診療機能として、最も多かったのは「救急医療の充実」（677件）でした。次いで、「小児医療の充実」（284件）、「急性心筋梗塞などの心血管疾患医療の充実」（245件）、「がん医療の充実」（207件）が上位に挙げられています。また、「周産期医療の充実」（185件）や「脳卒中医療の充実」（148件）、「予防医療（健診や人間ドック）の充実」（137件）といった回答も多く見られました。

今回の結果から、市立病院には幅広い診療機能が求められているものの、特に「救急医療」を求められています。また、「心血管疾患医療」、「がん医療」などへの要望が多いことは、地域住民が市立病院に対して高度な医療サービスを期待していることを示しています。

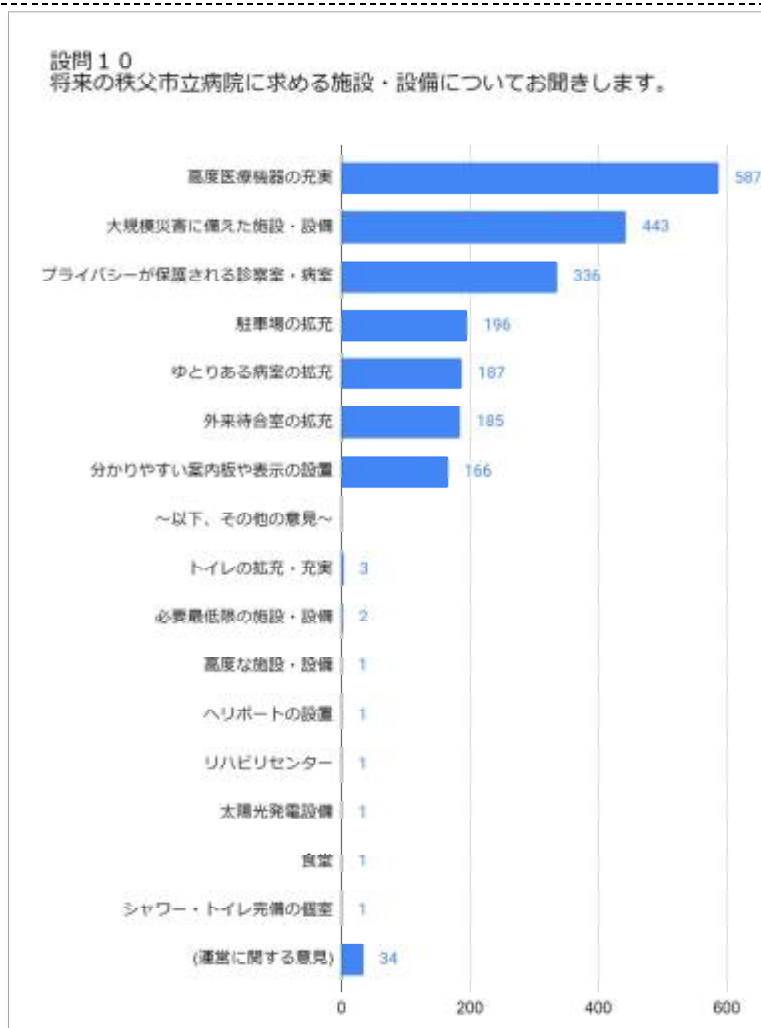
◆ 市立病院に入院する場合の病室の希望について



入院時の病室に関する希望として、最も多い回答は「入院した際の症状や状態による」で約43.9%を占めていました。次いで、「個室が良いが料金が高ければ多床室が良い」が約36.5%、「有料でも個室が良い」が18.2%、「個室が無料でも多床室が良い」は1.5%となっています。

多くの回答者が入院時の状況に応じた柔軟な選択をする一方で、個室を希望する人も一定数存在することが分かります。ただし、料金が高ければ多床室が良いという意見も多くなっているため、料金への配慮が重要な要素として考えられます。

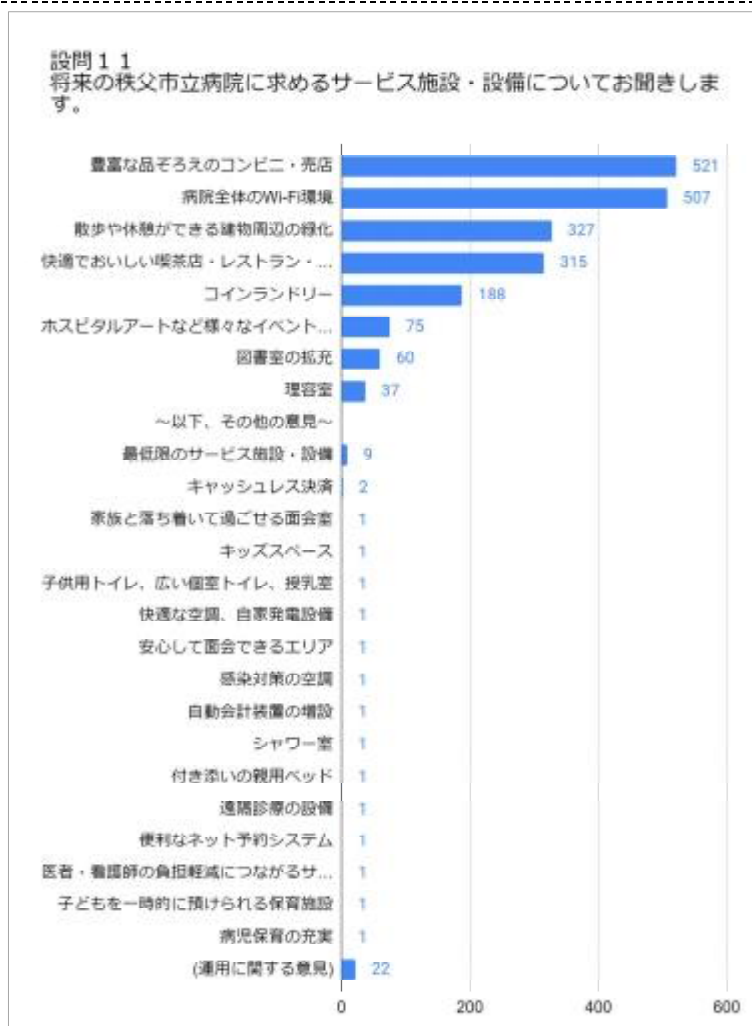
◆ 将来の市立病院に求める施設・設備について



市立病院に求められる施設・設備として、最も多かったのは「高度医療機器の充実」（587件）でした。次いで、「大規模災害に備えた施設・設備」（443件）、「プライバシーが保護される診察室・病室」（336件）、「駐車場の拡充」（196件）が上位に挙げられています。また、「ゆとりある病室の拡充」（187件）や「外来待合室の拡充」（185件）、「分かりやすい案内板や表示の設置」（166件）についても一定の要望が見られました。

この結果から、市立病院に対する住民の期待は、診療の質を支える高度医療機器の充実に加え、災害時の対応力や患者のプライバシーの確保、利便性向上にまで多岐にわたることが分かりました。特に、「大規模災害に備えた施設・設備」に関しては、市立病院が地域の医療拠点としての役割を果たすため、災害対応を念頭に置いた施設・設備計画が必要となります。

◆ 将来の市立病院に求めるサービス施設・設備について



市立病院に求めるサービス施設や設備として、最も多く挙げられたのは「豊富な品ぞろえのコンビニ・売店」（521件）でした。次いで、「病院全体のWi-Fi環境」（507件）、「散歩や休憩ができる建物周辺の緑化」（327件）、「快適でおいしい喫茶店・レストラン」（315件）が上位に挙げられています。

「豊富な品ぞろえのコンビニ・売店」が最も多く挙げられた背景には、患者や家族が必要な物品を手軽に入手できる環境が求められていることが考えられます。また、「Wi-Fi環境」の整備に関する要望は、滞在中の満足度向上へ寄与するものと考えられます。さらに、「散歩や休憩ができる建物周辺の緑化」や「喫茶店・レストラン」の要望からは、病院を訪れる人々がリラックスできる空間を求めていることが伺えます。

◆ 今後、市立病院を利用する上で期待すること

<主な意見を抜粋（要約）>

① 医療体制の充実

- ・ 医師不足を解消。
- ・ 救急科、小児科、産婦人科、などの強化。
- ・ 夜間・休日の救急体制強化や地域完結型の医療提供。
- ・ 高度医療機器の導入や脳外科・循環器内科などへの対応。
- ・ 秩父地域の中核医療機関として機能を拡大。

② 患者サービスの改善

- ・ 待ち時間の短縮として、診療の効率化や予約システムの見直し。
- ・ 医師や看護師、事務スタッフの対応改善。
- ・ 初めての利用者でも迷わない分かりやすい施設案内の充実。

③ 施設・設備の改善

- ・ 早急な建て替え。
- ・ 広い駐車場、アクセスの良い立地、バリアフリー設計。
- ・ 清潔感のある環境や広い待合スペース、個室の充実。
- ・ 防災機能やプライバシーを考慮した導線設計。

<総括>

住民から寄せられた意見では、「医療体制の充実」と「施設・サービスの改善」が強く求められています。特に、医師不足の解消や診療科の充実が最重要課題として挙げられ、小児科や救急医療の強化、夜間・休日の対応が期待されています。また、患者サービスの向上として、待ち時間の短縮や接遇改善、分かりやすい案内が求められています。

施設面では、早急な建て替えが必要とされており、清潔で快適な環境の整備や利便性の向上が望まれています。これに加え、地域医療の中心的役割を果たしつつ、災害時にも対応可能な病院としての設計が期待されています。